

令和2年12月21日
サツラク農業協同組合

新型コロナウイルス感染症罹患者の発生について

12月19日、サツラク農業協同組合（代表理事組合長 大坪慶博）の本所総務部（住所：札幌市東区苗穂町）に勤務する職員1名が、新型コロナウイルスに罹患していることが判明いたしました。当該職員は無症状ではありますが、陰性証明書を得る目的で12月18日にPCR検査をうけたところ、19日朝に陽性であることが確認されました。

なお、当該職員は窓口担当者ではなく、お客様との接点はありません。

当組合では、当該職員の新型コロナウイルス感染症の陽性が確認されたことを受け、感染者の行動履歴に基づき範囲特定を行い、所轄の保健所と連携し、感染者が発生した事務所において、以下の対応を12月20日までに行いましたので、サツラク農協本所は12月21日以降も通常どおり窓口営業を継続しています。

- 当該職員の健康状態の経過確認
- 当該事務所および関連施設（住所：札幌市東区丘珠町）の消毒作業の実施
- 当該職員の行動履歴調査（濃厚接触者なし）

お客さまおよび関係者のみなさまには、ご心配をおかけしますが、当組合といたしまして、マスクの着用と手洗いの励行等、感染拡大防止に引き続き取り組んで参りますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。